

# SID R

## 滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

### 《週報》

第2巻第15号

第15週(4月8日～4月14日)

発行年月日:平成14年(2002年)4月19日

発行:滋賀県立衛生環境センター内  
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

### 1) 全数報告の感染症(1類～4類)

感染症類型	疾患名	報告数 (15週)	累積報告数 (1週～15週)	平成13年 報告数
1類感染症	報告なし	0	0	0
2類感染症	細菌性赤痢	1	4	4
	パラチフス	1	1	0
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	44
4類感染症	アメーバ赤痢	0	3	5
	急性ウイルス性肝炎	0	0	2
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	2
	後天性免疫不全症候群	0	1	6
	ジアルジア症	0	0	1
	ツツガムシ病	0	0	2
	梅毒	0	2	6
	レジオネラ症	0	0	1

### 2) 定点把握の対象となる4類感染症

疾患名	定点当たり患者数		
	15週	増減	9週～14週
インフルエンザ	0.66		3.90
咽頭結膜熱	0.03		0.01
A群溶連菌咽頭炎	0.34		0.35
感染性胃腸炎	3.78		4.86
水痘	2.19		2.08
手足口病	0.06		0.13
伝染性紅斑	0.53		0.42
突発性発疹	0.50		0.46
百日咳	0		0
風疹	0		0.01
ヘルパンギーナ	0.03		0.01
麻疹	0.16		0.05
流行性耳下腺炎	0.97		0.87
急性出血性結膜炎	0		0
流行性角結膜炎	0.14		0.29
急性脳炎	0		0
細菌性髄膜炎	0		0
無菌性髄膜炎	0.14		0.10
マイコプラズマ肺炎	0.43		0.14
クラミジア肺炎	0		0
成人麻疹	0		0

\* 増減は、平成14年9週～14週の平均に対する今週との比較  
増加 減少 変化なし

\* 太字は、今週の注目される疾患です。

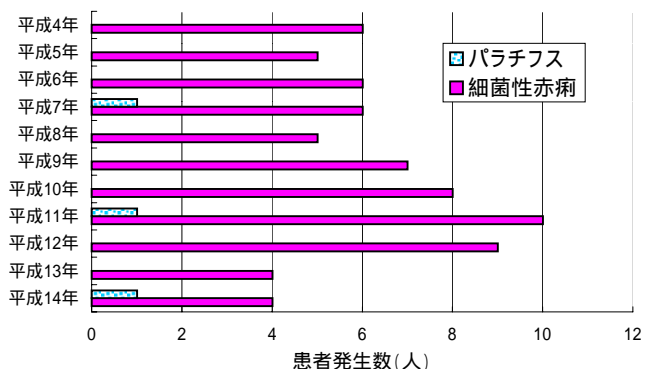
全国集計などの詳細な集計結果は、**国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ**において公表されています。  
(<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)

### 3) 今週のトピックス

#### パラチフス患者の発生(4月8日、公表) 細菌性赤痢患者の発生(4月10日、公表)

滋賀県における定点当たり患者数について、平成14年9週～14週の平均と平成14年の15週を比較すると、水痘、伝染性紅斑、麻疹、流行性耳下腺炎、マイコプラズマ肺炎等に増加傾向が見られます。また、県内で発生した細菌性赤痢患者(海外渡航者)からは赤痢菌(ソンネ型)が確認され、パラチフス患者(海外渡航者)からはパラチフス菌(パラチフスA型)が確認されました。細菌性赤痢およびパラチフス患者の発生状況は下記のグラフのとおりです。

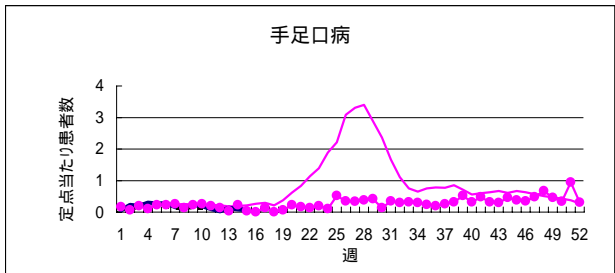
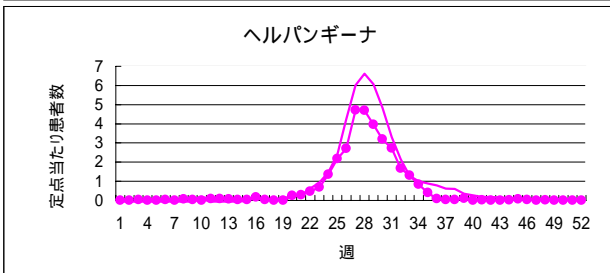
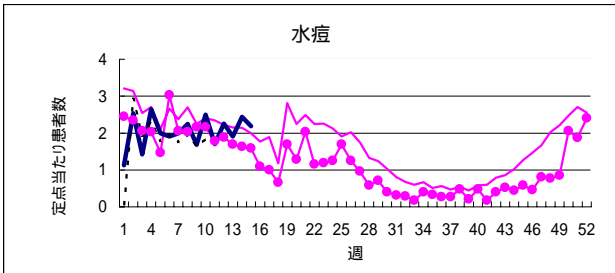
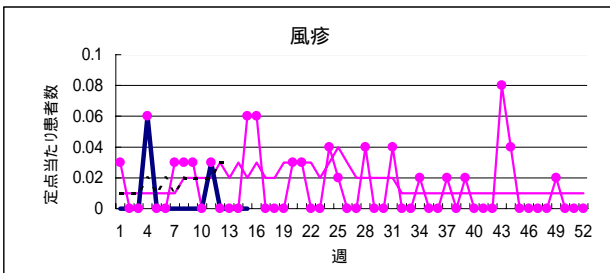
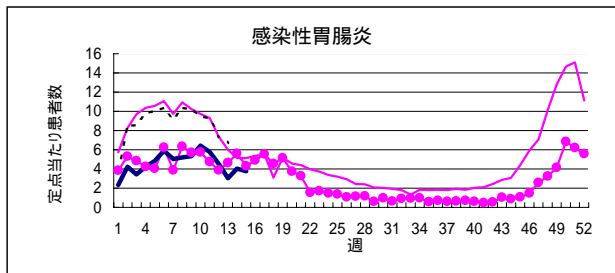
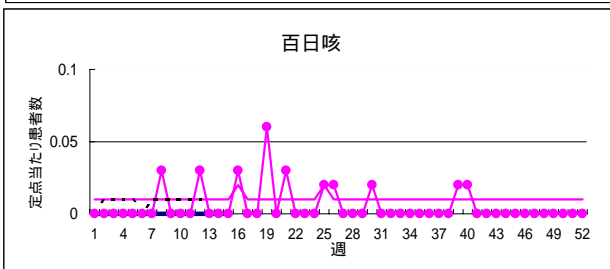
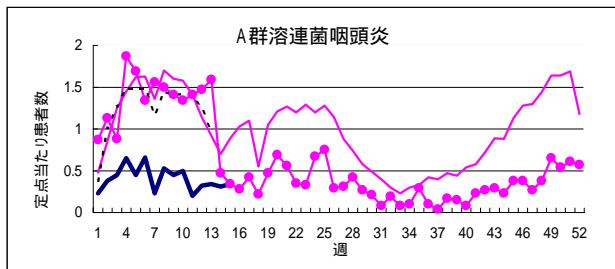
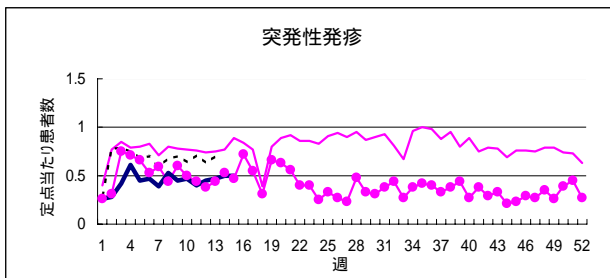
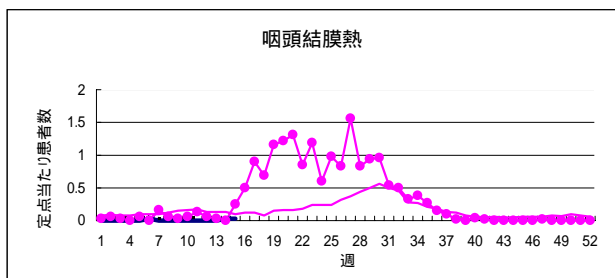
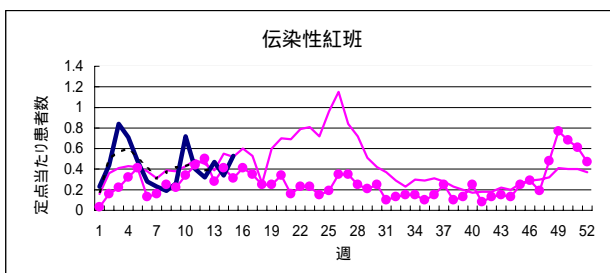
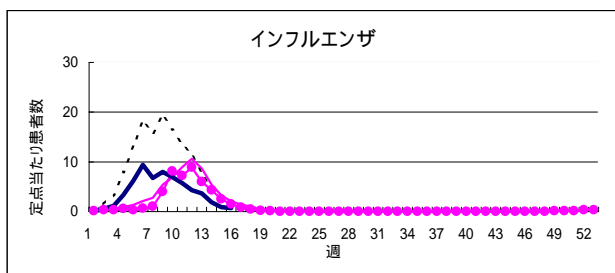
細菌性赤痢・パラチフス患者の年別発生状況  
-平成4年～平成14年(第15週報告分)-



細菌性赤痢・パラチフス患者の月別発生状況  
(平成14年4月14日現在)

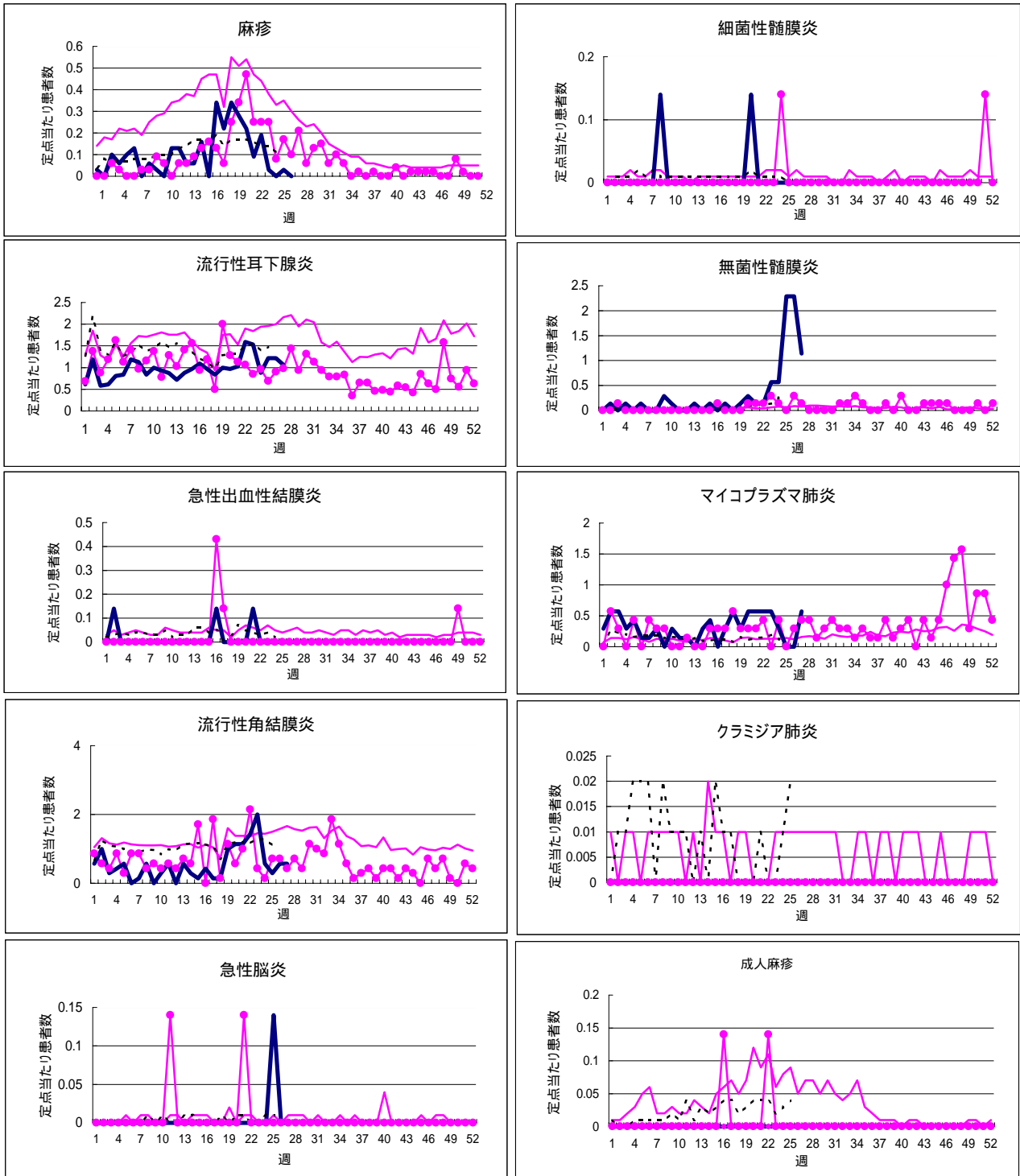
	1月	2月	3月	4月
細菌性赤痢	2	0	1	1
パラチフス	0	0	0	1

## 疾病別定点当たり患者数(平成14年第1週～第15週)



H13 { 滋賀 ●——●  
       { 全国 ————  
 H14 { 滋賀 ————  
       { 全国 - - - - -

# 疾病別定点当たり患者数(平成14年第1週～第15週)



H13 { 滋賀 ●——●  
       { 全国 ————  
 H14 { 滋賀 ————  
       { 全国 - - - - -